

倫 理 学

1 構 成 員

	平成17年3月31日現在
教授	1人
助教授	0人
講師（うち病院籍）	0人（0人）
助手（うち病院籍）	0人（0人）
医員	0人
研修医	0人
特別研究員	0人
大学院学生（うち他講座から）	0人（0人）
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員（教務職員を含む）	0人
その他（技術補佐員等）	0人
合 計	1人

2 教官の異動状況

森下直貴（教授）（2002年11月 現職）

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成16年度
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	1編（1編）
そのインパクトファクターの合計	0
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	0編
(3) 総説数（うち邦文のもの）	2編（2編）
そのインパクトファクターの合計	0
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0編（0編）
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	0編（0編）
そのインパクトファクターの合計	0

(1) 原著論文（当該教室所属の者に下線）

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 森下直貴, 健康と生命倫理 — 欲望論の視点から, 生命倫理: 14 (1), 12-19, 2004

インパクトファクターの小計 [0.00]

(3) 総 説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 共著, シンポジウム「健康概念の再検討」まとめ, 医学哲学医学倫理:22, 161-162
2. 単著, ポスト「脳死」時代の臓器移植 <安らかな死>と<安らかな生>とをいかにつなぐか, 図書新聞:2005年1月号

4 特許等の出願状況

	平成16年度
特許取得数(出願中含む)	0件

5 医学研究費取得状況

	平成16年度
(1) 文部科学省科学研究費	0件 (0万円)
(2) 厚生科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 (0万円)
(6) 奨学寄附金その他(民間より)	0件 (0万円)

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	1件	0件
(2) シンポジウム発表数	0件	0件
(3) 学会座長回数	1件	0件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	1件
(6) 一般演題発表数	0件	

(1) 国際学会等開催・参加

2) 国際学会・会議等における基調講演・招待講演

MORISHITA Naoki, The Invisible Public Realm and the Visible Public Realm: The Medical High technology controversy in Japan. Nanotechnology & Ethics, University of Surrey (UK), 2004.4.

4) 国際学会・会議等での座長

MORISHITA Naoki, ケアの国際比較: 仏教と社会的責任, 静岡大学, 2004.10

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

日本医学哲学・倫理学会, 理事

8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数（レフリース数は除く）	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成16年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成16年度
産学共同研究	0件

13 この期間中の特筆すべき業績，新技術の開発

1. 健康概念を欲望論・生命論・倫理学との関連において捉えることで，その独自の次元を切り開いた。